

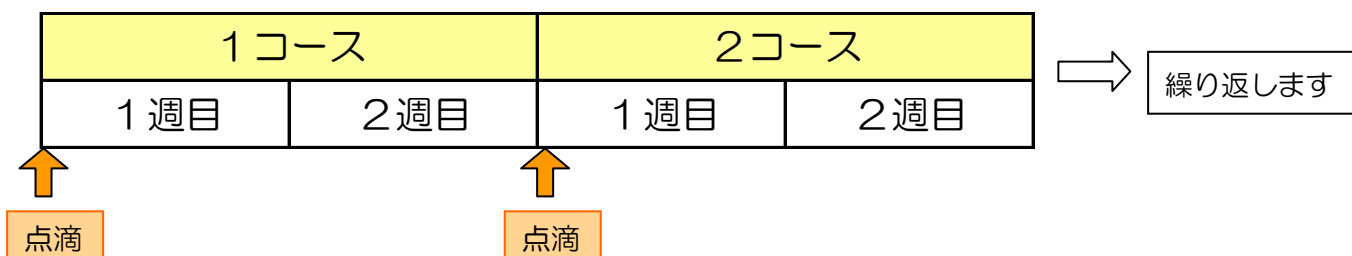
サイラムザ療法について

1. 治療のながれ

治療スケジュール

通常「2週間」を一区切り（1コース）として治療します。


副作用の程度や体調によって治療計画を変更することがあります。



点滴スケジュール

点滴時間「1時間」

患者様の状態に応じて長くなる場合があります。

| 薬品名 | 点滴時間 | 薬効 |
|---|------|------------------------------|
|  生食 250ml +サイラムザ | 60分 | 細胞を増殖する因子をおさえることで抗腫瘍効果を示します。 |

サイラムザ投与前に、アレルギーを予防するためにレスタミンコーワ錠を5錠服用します。

- 血液検査の結果や問診による自覚症状の有無を確認し、化学療法実施の決定を医師が行います。
- ここに記載されている以外の輸液等の薬剤を使用することがあります。


2. 予想される副作用



- 副作用は、治療内容や個人個人で症状の現れ方や程度が異なります。このため、副作用が出現した場合は、早期に対応できるようにすることが重要です。
- 副作用は、治療開始後すぐに起こる症状や、治療を繰り返すことで起こる症状があります。
- 副作用は「自分でわかる症状」と「血液検査などでわかる症状」があります。

副作用の特徴を理解し、体調に異常を感じた場合はすぐにお知らせください。

▼ 「自分でわかる症状」

| 副作用 | 出現時の対策・日常生活における注意点 |
|---------------------------|---|
| 疲労感・倦怠感・発熱 投与後2日から3日目頃 | 無理をせず、十分な休息とるようにしてください。 肝機能が影響して症状が出現する事があります。 発熱の症状に応じて解熱剤を使います。 |



| 副作用 | 出現時の対策・日常生活における注意点 |
|--|--|
| 吐き気・嘔吐・食欲不振 投与直後から7日目頃  | <ul style="list-style-type: none"> ・投与後すぐに起こる場合。 ・投与翌日から1週間ぐらいの間に起こる場合。 ・投与前から起こる場合。 ・食事のにおいなどで起こる場合。 これ以外でも変わったことがあった場合は報告してください。 吐き気止めや症状や原因に応じてその他の薬剤を使用します。 |
| アレルギー反応 (インフュージョンリアクション)  | 薬剤投与中、投与後に起こることがあります。 発疹、悪寒、発熱、呼吸苦、めまいなどの症状が出現することがあります。 少しでもおかしいと感じたときはすぐに申し出てください。 症状が出現時は、ステロイド剤と抗アレルギー剤で対応します。 |
| 粘膜からの出血 | 主に鼻血、歯肉などから軽度の出血、血便がみられます。 これらの出血は通常軽く、たいていは、自然にとまります。 出血が止まらない時、血便だったときはお知らせください。 |
| 高血圧 | 我慢できないほどの頭痛や吐き気、意識がもうろうとする。 治療として一般的な降圧薬による治療が行われます。 急激に血圧が上昇して脳やその他の臓器に障害が生じることがあるため、治療期間中は定期的に血圧測定してください。 安静時に測定した血圧で最大血圧が180mmHgもしくは最小血圧が120mmHgを超える場合も連絡してください |
| たん白尿 | 高血圧の方に出現しやすい傾向があります。 治療期間中は、定期的に尿タンパクを測定します。 |
| 血栓 (心筋梗塞、脳梗塞、狭心症など) | 胸が痛む、胸がしめつけられる、意識を失いそうになる、ろれつがまわらなくなる、激しいめまいがする、突然息切れがするなど 症状がみられた時は、すぐに連絡してください。 |
| 腎機能 肝機能 電解質 などの項目も問題ないか確認していきます | |

ここに書いてある以外の副作用が現れるかもしれません。普段と何か違うな、おかしいなと感じたときは医師、薬剤師、看護師に報告してください。

治療を受けているときは、様々な不安や疑問を感じると思います。
 そのようなときは主治医、薬剤師または看護師にお気軽に相談してください。

